

令和 2 (2020) 年度 奥田元宋・小由女美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，国，県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け，次の期間臨時休館した。

○休館期間 令和 2(2020)年 4 月 11 日（土）～5 月 20 日（水） 40 日間

【公益目的事業】

1 展示事業

奥田元宋の「日本画」と奥田小由女の「人形」を展示する常設展と年 6 回程度の企画展を開催している。

(1) 常設展の開催

	展示名	会期（開館日数）	入館者数
1	第 1 期常設展「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設展のみの期間 5 月 21 日～6 月 30 日 8 月 17 日～8 月 28 日 (45 日間) 展示期間 4 月 1 日～9 月 8 日 (103 日間) ※全会期 3 月 12 日～ (121 日間)	638 人
	<p>【概要】</p> <p>会期が春から初夏の期間であることから，奥田元宋の《春耀》《寂静》など桜の作品や《立夏》《花ひらく南房》など夏らしい作品などを合わせて紹介。</p> <p>奥田小由女作品はリニューアル後の展示ということで小由女展示室 2 の壁面ケースに白の時代と色彩の時代のそれぞれの作品を合わせて展示した。コロナ禍における臨時休館を経て，結果的に秋まで会期が延びる事となった。</p> <p>総点数 43 点。</p>		
2	第 2 期常設展「奥田元宋と奥田小由女の世界」	常設展のみの期間 10 月 26 日～11 月 2 日 12 月 21 日～12 月 27 日	724 人

		(13日間) 展示期間 9月10日～ 2021年1月11日 (107日間)	
	【概要】 会期が「秋」の期間であることから、「元宋の赤」の作品を中心にしつつ、《寂静》や《山湖清韻》など仏教色を含む作品、片岡鶴太郎展や熊谷守一展と関連して書（短歌）の作品を多く展示した。奥田小由女の人形については、小由女展示室2のケースに白の時代を揃えて新たな景観を提示した。常設展示室改修前の展示となるため、元宋の小作を多めに展示し、その画風の豊かさも紹介している。総点数53点。		
	入館者数合計（常設展示のみ 58日間）		1,362人

(2) 企画展の開催

企画展は、年6回の企画展を実施した。

	企画展名	会期（開館日）	入館者数
1	キスリング展	4月1日～4月10日（8日間） ※全会期2月22日～（42日間）	417人 （※2,909人）
	【概要】 19世紀から20世紀にかけてヨーロッパで活躍したエコール・ド・パリの画家の中で当時もっとも成功した画家であったキスリングの代表作を含む50点を紹介する展覧会。同世代の画家の影響を受けた初期作品から独自の女性表現を切り拓いた黄金期の作品、そして晩年の作品にいたるまでキスリングの全体像を見渡せる内容となった。日本国内の新型コロナウイルス感染症拡大を受けて計画していたイベントはすべて中止とした。 （企画展主催者：中国放送，中国新聞社，当美術館）		
2	墨は流すもの —丸木位里の宇宙—	7月2日～8月16日（40日間） ※7月14日臨時休館	4,184人
	【概要】 「原爆の図」の作者として広く知られる丸木位里について初期から晩年に至る水墨表現の作品を中心に紹介し、原爆と平和活動の印象が強い丸木位里を、独自表現を追い求めた日本画家としての観点で改めて紹介する回顧展。三期に分けて約100点を紹介した。コロナ禍を受けて会期を変更しての開催		

	<p>とし、企画したイベントはすべて中止とした。</p> <p>その代わりに、ワークショップ講師を依頼していた内田あぐり氏による丸木位里の技法再現映像を会期中上映した。また台風接近を受けて7月14日を臨時休館日とした。本展は（一財）地域創造の助成を受けて開催し、一宮市三岸節子記念美術館、富山県水墨美術館を巡回した。</p> <p>（企画展主催者：中国放送、中国新聞社、当美術館）</p>		
3	画業 25 周年・芸能生活 45 周年記念 片岡鶴太郎展 顔－faces－	8月29日～10月25日(50日間)	20,097人
	<p>【概要】</p> <p>芸人、俳優、画家、書家、ボクサー、ヨガマスターなど、様々な『顔』を持つ片岡鶴太郎の画業 25 周年・芸能生活 45 周年を記念した展覧会。</p> <p>多くの顔を持つ鶴太郎氏が様々な顔を作品で表現することをテーマに、油彩画、日本画、染付けなど多様な技法で描き上げた作品と親交のある著名人が制作した『顔』にちなんだ作品を含め 140 点以上を展示。コロナ禍を受けてイベント等は実施しなかったが鶴太郎氏が即興制作としてピオーネの絵を描き、展覧会の告知も行ったことで話題性が高まった。</p> <p>会期中、広島ホームテレビで TVCM を放映。</p> <p>（企画展主催者：中国放送、中国新聞社、片岡鶴太郎展 顔－faces－ 実行委員会、当美術館）</p>		
4	生誕 140 周年 熊谷守一展 わたしはわたし	11月3日～12月20日(42日間)	7,340人
	<p>【概要】</p> <p>「画壇の仙人」、「超俗の人」など、世俗から離れたイメージで世に紹介されている熊谷守一の生誕 140 周年を記念して、油彩作品を中心に日本画、書などを加え約 150 点を紹介した。</p> <p>【関連イベント】</p> <p>会期中、11月30日には夜間開館延長を実施し、コンサート等のイベントを開催した。</p> <p>（企画展主催者：当美術館、中国放送、中国新聞社）</p>		
5	草乃しずか 日本刺繍展 煌く絹糸の旋律	令和 3 (2021) 年 1 月 2 日～ 2 月 28 日 (50 日間)	8,219人
	<p>【概要】</p> <p>和装具をはじめ屏風、タペストリーなどの刺しゅう作品を制作し、古衣着</p>		

	<p>物や古裂（こぎれ）などにも針を通し新たな生命を吹き込むなど、刺しゅうの楽しみ方を広く普及させてきた草乃しずか。</p> <p>草乃の多彩な作品と、草乃の母三星静子の作品を合わせて約 220 点を展示した。</p> <p>【関連イベント】</p> <p>1 月 9 日に草乃しずか氏のトークイベントを計画していたが、広島県内の新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止とした。</p> <p>（主催：中国放送，中国新聞社，当美術館）</p>		
	<p>田中一村展 奄美へとつづく道</p>	<p>令和 3（2021）年 3 月 26 日～ 3 月 31 日（5 日間） ※全会期～5 月 5 日（36 日間）</p>	<p>1,252 人</p>
6	<p>【概要】</p> <p>中央画壇を離れ，移住した奄美大島で亜熱帯の植物や動物を描きながら独特の世界を作り上げた孤高の画家，田中一村。一村芸術の円熟期とされる奄美時代の作品を交えながら，初期から晩年までの作品の数々で構成し，その奥深い芸術を紹介。</p> <p>【関連イベント】</p> <p>本展監修者の大矢鞆音氏を講師に，記念講演会「田中一村の世界 一南の琳派への軌跡一」を 3 月 27 日（土）11 時から 12 時まで開催。事前申し込みの 20 名が聴講した。</p> <p>（企画展主催者：中国放送，中国新聞社，当美術館）</p>		
	<p>合計入館者数（195 日間）</p>		<p>41,509 人</p>

※常設展のみ（58 日間）1,362 人 企画展（195 日間）41,509 人

小計 253 日間 42,871 人

※貸会場等 660 人

来館者合計 43,531 人

2 調査研究，収集保管事業

(1) 調査研究

奥田元宋の習作・スケッチ類の分類整理作業を継続して実施した。

(2) 作品収集

引き続き関連作品の購入・受託受入の調整を行った。

3 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー等活用事業

市内各種文化団体の作品の成果の発表の場として展示会場を提供した。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3(2021)年3月のみの提供となり第19回墨親書展(墨親会)・第17回みよし文化祭美術展(三次市文化連盟)が開催された。

また、お茶室は青空保育園のお茶室見学会(半日)を行った。

(※詳細は「資料編」1頁 1 令和2年度市民ギャラリー等使用明細表参照)

(2) ロビーコンサート事業

月1回の満月日に地元三次市内等で活躍する個人や団体の発表の場としてコンサートを実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため10月まで中止した。11月から再開して、年度内3回実施し、延べ191人の集客を図った。初めての取組としてクラウドファンディングを行い、11月30日と12月19日にはインターネット生配信(YouTube)を実施した。

(※詳細は「資料編」1頁 2 令和2年度満月ロビーコンサート実績参照)

(3) 学校連携事業

ア 鑑賞事業

鑑賞希望の学校と連携し、展示作品についての児童相互の意見交換など事前学習を行ってから鑑賞を実施し、児童生徒の鑑賞力と発表力を養っている。

	対象	参加校数(校)	参加人数(人)
1	小学生	4	112
2	中学生	0	0
	合計	4	112

イ ワークショップ事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度は実施をしなかった。

4 広報，宣伝活動事業

(1) 各企画展に伴う広報内容

	企画展名	広報内容
1	キスリング展	中国新聞社（紙面広告など），中国放送（ラジオ CM 等）。その他テレビニュース報道内，WEB サイトでの紹介。
2	墨は流すもの －丸木位里の宇宙－	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など），中国放送（ラジオ CM 等），NHKEテレ「日曜美術館」アートシーンでの展覧会紹介。その他県内ラジオ，テレビニュース報道内，雑誌・季刊誌・WEB サイトでの紹介。
3	画業 25 周年・芸能生活 45 周年記念 片岡鶴太郎展 顔－faces －	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など），中国放送（ラジオ CM 等），広島ホームテレビ（後援・TVCM 及び作家本人出演の展覧会紹介）。RCCラジオ（「本名正憲のおはようラジオ」）・エフエムふくやま・尾道エフエム放送で展覧会告知（電話出演），三次ケーブルビジョン（作家本人出演の展覧会紹介など）。その他テレビニュース報道内，雑誌・季刊誌・WEB サイトでの紹介。
4	生誕 140 周年 熊谷守一展 わたしはわたし	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など），中国放送（ラジオ CM 等），NHK 広島放送局番組内特集。その他テレビニュース報道内，雑誌・季刊誌・WEB サイトでの紹介。
5	草乃しずか 日本刺繍展 煌く絹糸の旋律	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など），中国放送（ラジオ CM 等），NHK 広島放送局「ひるまえ直送便」草乃しずか特集放送・展覧会の事前告知。その他テレビニュース報道内，雑誌・季刊誌・WEB サイトでの紹介。三次ケーブルビジョン制作の草乃しずか氏解説風景放送，YouTube 用映像の作成及び美術館公式 YouTube チャンネルでの映像配信。
6	田中一村展 奄美へとつづく道	中国新聞社（紙面広告・作品解説連載など），中国放送（ラジオ CM 等）。その他雑誌・季刊誌・WEB サイトでの紹介。

(2) その他広報，宣伝活動

ア 情報発信

地域の芸術，文化の振興に寄与することを目的に，美術館や常設展，企画展についての情報提供を積極的に行った。

- ① 美術館ホームページ Twitter(ほぼ毎日発信), Facebook, Instagram, YouTube による情報提供
- ② 美術館ニュースを 10 月・令和 3 (2021) 年 3 月の 2 回発行した。発行部数は 10 月 3,000 部，3 月 2,500 部発行で，展覧会計画，奥田元宋・小由女作品の紹介，ホームページのリニューアルなど幅広い美術館情報をサポートメンバーや市内外の施設へ配布し，広報活動を行った。

イ 市民及び市外への広報・営業活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，実施していない。

ウ 営業活動

- ① 備北交通株式会社と連携し，満月日の満月バスパック・直行便（広島バスセンター～美術館の往復），アートワインバスパック（広島バスセンター～美術館の往復乗車券と入館券のセット）も継続実施し，7 月から 12 月までは広島県の助成金制度「企画乗車/乗船券による公共交通の需要喚起事業費補助金」を活用した特割ツアーで好評を得た。
- ② GoTo トラベルや広島県独自の旅行会社助成金等により，団体客も 7 月から増加傾向にあったが，12 月 28 日に GoTo トラベルの一時停止を受け，その後の団体予約が全てキャンセルとなった。
(※詳細は資料編 2 頁 4 令和 2 年度団体入館者及び旅行会社明細表参照)
- ③ GoTo トラベルの地域共通クーポン券取扱店となり，10 月 23 日から 12 月 27 日の間に 181 枚（181,000 円）の利用があった。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として広島県内を中心に企画展ポスター・チラシを送付し，狭範囲での広報活動を実施し集客を図った。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，県外及び県内への営業活動を自粛した。
- ⑥ 三次市観光キャンペーン実行委員会の三次市周遊キャンペーン事業で市民一人当たり 500 円の施設利用料金割引を行う制度に，財団の 4 館（奥田元宋・小由女美術館，三良坂平和，美術館あーとあい・きさ，吉舎歴史民俗資料館）が協賛施設として登録した。奥田元宋・小

由女美術館の利用状況は、9月10日から11月30日までの間が627人、令和3（2021）年3月22日から3月31日までの間は266人の利用があった。

5 美術館ボランティア「OGS 夢スタッフ」の活動状況

(1) 総括

ア 登録総数 218人（延べ活動者数1,945人）

活動者数は受付・監視1,712人、環境美化171人、広報55人、呈茶1人、事務イベント6人

イ 活動内容

受付・監視、環境美化、発送作業、イベント補助、広報（ボランティアニュース奇数月発行）、呈茶、（※作品ガイドは休止中）

・受付・監視グループ

4月1日～4月10日 監視実施

4月11日～7月1日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止

7月2日～ 丸木位里展から監視のみ再開

・環境美化グループ

6月中旬～ 活動を再開（毎週土曜日朝、館外の植栽等の手入）

・広報グループ

会報の発行を6月号（臨時号）から再開

・呈茶グループ

活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止

11月 茶室「待月庵」の茶道具整理

・イベント・事務補助グループ

11月、12月、3月 満月ロビーコンサート司会

ウ 先進地視察 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施なし。

エ 各企画展研修会の実施（企画展研修1回）

「田中一村展 奄美へとつづく道」 1回（参加者9人）

※開幕前ボランティアスタッフ対象の内覧会を実施（参加者36人）

オ 美術館ボランティア 1 日研修

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施なし。

【収益事業】

1 美術関連品提供事業（ショップ事業）

(1) 常設ショップ

元宋・小由女作品のオリジナルグッズを中心に販売を実施。

また、三次市が行うふるさと納税寄付者に対する「お礼産品」の取り扱いを行った。（ふるさと納税件数:7 件）

商品売上額 3,288,136 円（内図録販売額 729,325 円）

複製画売上額 968,000 円（手数料収入額 212,960 円）

(2) 企画ショップ

各企画展において関連グッズや関連書籍の販売を実施。

（販売は委託販売で手数料収入）

企画展名	売上額	手数料収入額
キスリング展（令和 2 年 4 月 1 日～）	244,711 円	37,052 円
丸木位里展	155,023 円	31,004 円
片岡鶴太郎展	10,641,056 円	1,856,756 円
熊谷守一展	4,148,939 円	731,798 円
草乃しずか展	4,481,194 円	667,181 円
田中一村展（～令和 3 年 3 月 30 日）	1,850,793 円	241,878 円
合 計	21,521,716 円	3,565,669 円

2 レストラン賃貸借事業

レストランの食事と入館料をセットにした平日の「セット券」や「満月バスパック」などを入館者に提供し、年間を通じて安定したレストラン経営ができるようサポートし、賃貸借事業を実施した。

月	利用者数	企画展名
4	284 人	キスリング展 (4/1~4/10) 臨時休館 (4/11~)
5	210 人	臨時休館 (~5/20) 常設展のみ (5/21~)
6	720 人	常設展のみ
7	1,078 人	丸木位里展 (7/2~)
8	1,459 人	丸木位里展 (~8/16), 片岡鶴太郎展 (8/29~)
9	1,828 人	片岡鶴太郎展
10	2,043 人	片岡鶴太郎展 (~10/25)
11	1,823 人	熊谷守一展 (11/3~)
12	985 人	熊谷守一展 (~12/20)
1	606 人	草乃しずか展 (1/2~)
2	1,584 人	草乃しずか展 (~2/28)
3	1,048 人	田中一村展 (3/26~3/31)
合計	13,668 人	

4月～3月までのレストラン利用客数 13,668人 (45人/日)

(前年度比 △4,533人)

3 茶室運営事業

呈茶のサービスを通して、来館者の方々に「奥田元宋・小由女の世界」をより堪能していただくことを目的として実施している。茶室「待月庵」にて呈茶を行うボランティア「茶室協議会」の協力で、土日祝日を中心に呈茶サービスを行っているが、令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3(2021)年3月29日(月)の1日のみ感染症拡大防止対策を行ったうえで実施した。

また、9月2日、10月1日及び10月2日の3日間茶室を開放し自由見学していただく機会とし、合計100人の訪問があった。11月に茶室「待月庵」の茶道具整理を行った。

開催日数	1日
利用客数	20人(延人数)
協力登録団体	5団体(裏千家, 表千家, 上田宗箇流, 松莚流, OGS夢スタッフ)

【その他事業】（相互扶助事業）

美術館サポートメンバー向け事業

奥田元宋・小由女美術館の魅力を企画展や広報活動を通じて市内外に発信し、サポートメンバーの加入促進を図った。

〈令和2（2020）年度サポートメンバー加入状況〉

一般会員 93 人，特別会員 193 人，法人会員 40 団体 合計 326 会員

【法人関係】

令和2（2020）年度評議員会及び理事会の開催

評議員会，理事会を次のとおり開催した。

	日時	会議名	議事等
1	令和2（2020）年5月25日（月）提案 決議日：令和2（2020）年6月4日（木）	令和2年度第1回通常理事会 （決議の省略による審議）	規則・規程の変更，令和元年度事業報告及び決算報告ほか
2	令和2（2020）年6月5日（金）提案 決議日：令和2（2020）年6月19日（金）	令和2年度第1回定時評議員会 （決議の省略による審議）	令和元年度事業報告，決算報告ほか
3	令和2（2020）年11月20日（金） 10：00～	令和2年度第2回通常理事会	令和2年度前期事業報告及び前期決算報告ほか
4	令和3（2021）年3月5日（金） 10：00～	令和2年度第3回通常理事会	令和3年度事業計画及び収支予算（案）ほか
5	令和3（2021）年3月23日（火） 10：00～	令和2年度第2回定時評議員会	令和3年度事業計画及び収支予算（案）ほか
6	令和3（2021）年3月23日（火） 10：00～	令和2年度第1回臨時理事会	事務局長の選任

令和 2 (2020) 年度 三良坂平和美術館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，国，県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け，次の期間臨時休館した。

○休館期間 令和 2 (2020) 年 4 月 12 日 (日) ～5 月 19 日 (火) 38 日間

1 展示事業

地元三良坂町出身の柿手春三の世界を堪能していただくことにより，地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的として開催した。

(1) 常設展の開催

	展示名	会期 (開館日数)	入館者数 (常設展のみ)
1	I 期 海と山と人々と	4 月 1 日～7 月 30 日 (63 日間)	1,668 人
	【概要】 柿手の描いた海田湾風景や広島山，そして人物のスケッチを紹介。		
2	II 期 柿手 平和を語る	8 月 1 日～9 月 27 日 (51 日間)	654 人
	【概要】 「8.6」をテーマにした柿手の作品群を展示。福山の 3 人の作家とのコラボレーション。		
3	III 期 ダブルイメージの世界	10 月 1 日～11 月 29 日 (54 日間)	1,059 人
	【概要】 柿手独自の手法でキャンバスを縦横に動かしながら描いた作品群の紹介		
4	IV 期 池袋モンパルナスの仲間たち	12 月 3 日～令和 3 (2021) 年 3 月 13 日 (76 日間)	747 人
	【概要】 かつて柿手と交流のあった，池袋モンパルナスのアトリエ村に暮らした作家たちの作品を紹介。		
合計入館者数		244 日間	4,128 人

(2) 企画展の開催

	企画展名	会期（開館日数）	入館者数
1	齋藤清 版画展	4月1日～5月31日（12日間）	291人
	【概要】 三次市内のコレクターが所有する作品約100点と愛媛のコレクターの作品約10点を展示し、引き続きその魅力にせまる。版画の奥深さを楽しんでもらった。		
2	県北アートシーン 30th	6月6日～7月5日（26日間）	1,173人
	【概要】 絵画，立体，写真，陶芸等，県北在住ならびに県北に所縁のある，現在活躍中の作家の優れた作品を広く地域の人々に紹介。		
3	34回平和展 平和の灯ろうコンテスト作品展	7月10日～7月24日（16日間）	297人
	【概要】 広く平和祈念の機運を高めることを目的に「第8回平和の灯ろうコンテスト」の応募作品をすべて展示。		
4	びんご。-備後から平和を-	8月1日～9月27日（51日間）	649人
	【概要】 福山を中心に活躍している広田和典氏，高田三徳氏，小林福恵氏の3名の作家の作品を紹介した。今回の展示では、「柿手作品とのコラボレーションと彼ら独自の作品群」という2部構成で，それぞれの作家の個性を楽しみ，また，現代アートを通して平和を考える場とした。		
5	中村里子 夢の結晶	10月3日～11月29日 (51日間)	1,020人
	【概要】 広島市在住のビーズ作家中村里子氏のアクセサリー約30点を展示。 宝石のような輝きのビーズで作られた芸術的な装飾品を楽しんでもらう。		
6	ACTIVE IN MIRASAKA Part 1	12月3日～令和3(2021)年 1月23日（37日間）	432人
	ACTIVE IN MIRASAKA Part 2	令和3(2021)年1月31日～ 3月13日（36日間）	280人
	【概要】 県内在住の若手アーティスト7名による現代アート作品の紹介。		

	Yoko-Bon' s World	令和 3(2021)年 3 月 27 日 ～3 月 31 日 (4 日間)	262 人
7	【概要】 奈良県在住の人形・造形作家 YOKO-BON の人形とジオラマと新作のインスタレーションで新しい空間演出を楽しんでもらう。		
合計入館者数		233 日間	4,404 人

※当初 4 月 4 日（土）～5 月 31 日（日）で開催を予定していた企画展「Yoko-Bon' s World 絵本と猫と人形たちと」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3（2021）年 3 月に変更。

※常設展のみ（日間）964 人 企画展（195 日間）4,404 人 合計 5,368 人

2 市民活動支援及び教育普及事業

(1) 市民ギャラリー活用事業

新型コロナウイルス感染症対策のため中止

(2) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

イ ワークショップ事業

新型コロナウイルス感染症対策のため中止。

ウ 参加型平和への取り組み事業（市地域振興課人づくり係と共催）

折鶴を使って灯籠作りなどへの参加を町内の子どもからお年寄りまで幅広い層の方に呼びかける。完成作品は館内に展示するなど、平和活動への取り組みを通して美術館に対する関心をより深めてもらうことを目的として実施した。

事業名	募集期間	参加者数
第 8 回平和の灯ろうコンテスト	4 月 1 日～6 月 26 日	243 人
【概要】 広島市平和記念公園へ手向けられた「折り鶴」を「ちぎり絵」などに活用することで、広く平和祈念の機運を高めることを目的に「平和の灯ろうコンテスト」を三次市地域振興課ひとづくり係と協力して開催し、展示した。		

◎鶴の解体は三次市内の介護施設にお願いした。

◎応募について

- ・個人でも団体でも応募できる。
- ・お渡しする灯ろう用紙と折り鶴を使用すること。
- ・作品は平和に関連性を感じさせるものとする。

◎賞の結果について

	幼児の部	小学生の部	中学生の部	一般の部
大賞	みわ保育所 年長	三和小学校 6年生	八次中学校美術部 2年生グループ4	デイサービスセンター 相扶園
優秀賞	三良坂保育所 年中	作木小学校 1年生	川地中学校 文芸部1年生	岡崎医院デイサービス センター「たすく」
特別賞	こうぬ保育所 5歳児	みらさか小学校 6年生 加坂杏実	甲奴中学校 2年生	デイサービス センターウイズ

応募数 (個人・団体合わせて) 243点

幼児の部 64点 小学生の部 68点 中学生の部 38点

一般の部 73点

令和2(2020)年度 美術館あーとあい・きさ及び吉舎歴史民俗資料館 事業報告

三次市の芸術・文化・教育の振興，並びに地域文化の発展を図ることをめざし，次の事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，国，県の方針並びに新型コロナウイルス感染症三次市対策本部の方針及び要請を受け，次の期間臨時休館した。

○休館期間 令和2(2020)年4月12日(日)～5月19日(火) 38日間

I 美術館あーとあい・きさ事業

1 展示事業

奥田元宋・小由女夫妻の出身地にある美術館として，地元の作家及び近年活躍の目覚ましい県内作家等の作品や長年継続して創作活動している団体等の作品を県北の地で広く紹介し，地域の芸術・文化の振興に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

	展 示 名	会期 (開館日数)	入館者数 (常設展のみ)
1	常 設 展	4月1日～令和3(2021)年 3月31日 (278日間)	62人
	【概要】 当館所蔵の奥田元宋・小由女作品を，両氏の出身地にある美術館として通年展示した。		

(2) 企画展の開催

	名 称	会期 (開館日数)	入館者数
1	正山征洋コレクション ボタニカルアートと故郷の 薬草展	4月1日～4月5日 (5日間) ※全会期3月7日～ (26日間)	65人 (※509人)
	【概要】 前年度3月7日から開催の企画展。三次市吉舎町出身の薬学博士正山征洋氏が自らの研究の傍ら収集したボタニカルアート78点を展示し，広く紹介した。		
2	佐々木一則・加納由美子 ^{とき} 二人展ーきらめく幻光の刻 ー	4月12日～5月31日 (11日間)	270人
	【概要】 広島県在住の二人の日展作家，金属造形作家佐々木一則氏と七宝工芸作家		

	<p>加納由美子氏の作品 66 点を一堂に展示し、工芸美術の魅力を広く紹介した。 二人の作家それぞれのワークショップも計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。会期初日の 4 月 12 日から 5 月 19 日まで臨時休館。</p>			
3	<p>第 14 回日本画協会作品展 －春秋のかたち－</p>	6 月 7 日～7 月 19 日 (36 日間)	685 人	
	<p>【概要】 広島県日本画協会に所属する会員が、日本の季節の移ろいや美を繊細な表現で制作した 53 点を展示し、広く紹介した。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い県美展巡回展が中止されたため会期の終期を当初予定の 7 月 5 日から 7 月 19 日に延長した。</p>			
4	RartS exhibition 2020	7 月 26 日～9 月 27 日 (56 日間)	593 人	
	<p>【概要】 地元三次市出身のイラストレーター RLYØ と syow のファンタジーな世界観を水彩絵の具からデジタルイラストまで多彩な手法で表現した 160 点もの作品を展示した。 また、小中学生を対象に似顔絵ワークショップを開催し好評を得た。</p>			
5	<p>桜田知文作品展 －心のままに－</p>	10 月 4 日～11 月 8 日 (32 日間)	443 人	
	<p>【概要】 日展作家桜田知文が「鑄造」という技法に出会って 40 年目という節目の年に、その時々心のままに制作した入賞作品を含む 27 点を展示し、工芸の持つ魅力を広く紹介した。</p>			
6	第 16 回広島日展会小品展	11 月 15 日～12 月 20 日 (32 日間)	362 人	
	<p>【概要】 日本最大の公募展「日展」を舞台に活躍する広島日展会会員の作品を一堂に展示し、書・絵画・彫刻・工芸美術など幅広いジャンルの芸術を一度に鑑賞できる展示とした。</p>			
7	<p>吉舎町内園児・児童・生徒 作品展</p>	令和 3(2021)年 1 月 14 日～ 2 月 28 日 (35 日間)	440 人	
	<p>【概要】 吉舎町内の園児及び小中高校生が授業で制作した作品を①園児・小学生②中学生③高校生の 3 つのカテゴリー別に期間を設けて展示し、地域の子供たちの芸術への関心の向上を図った。</p>			
8	<p>二人の先達〈平野清・尾崎平 八郎〉と加藤宣也絵画展</p>	令和 3(2021)年 3 月 7 日 ～3 月 31 日 (21 日間) ※全会期～5 月 9 日 (56 日間)	183 人	
	<p>【概要】 三次市在住の作家加藤宣也の 11 歳から 67 歳の現在に至る作品を、広島県美展で 2 度の入賞作品を中心に展示するとともに、大きな影響を受けた二人の先達平野清と尾崎平八郎の作品 9 点とともに展示し紹介した。</p>			
合計入館者数			228 日間	3,041 人

※常設展のみ (278 日間) 62 人 企画展 (228 日間) 3,041 人 合計 3,103 人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

鑑賞事業

児童生徒の鑑賞力と発表力を養いながら美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうこと、また地域の方々にも鑑賞を通して美術館や美術作品に対する関心をより深めてもらうことを目的に実施した。

【団体鑑賞受入実績】

	事業名	期日	入館者数
1	美術作品鑑賞と地域の歴史学習 (吉舎中学校1年生)	6月17日	22人
2	美術作品鑑賞と施設見学 (社会福祉法人あらくさ)	10月13日	7人
3	美術作品鑑賞と地域の歴史学習 (酒河小学校3年生)	10月21日	35人
4	企画展展示作品鑑賞 (尾道市立大学美術学科)	11月5日	23人
5	企画展展示作品鑑賞 (吉舎保育所みどり組)	令和3(2021)年 1月15日	19人
6	企画展展示作品鑑賞 (吉舎保育所き組・もも組)	令和3(2021)年 1月21日	28人
7	企画展展示作品鑑賞 (八幡小学校)	令和3(2021)年 1月26日	25人
8	企画展展示作品鑑賞 (吉舎中学校1・2年生)	令和3(2021)年 2月18日	46人
		合計	205人

Ⅱ 吉舎歴史民俗資料館事業

1 展示事業

三玉大塚古墳出土品, 南天山城跡出土品, 和智氏関係資料及び昔の農家(囲炉裏), 民具・農具の展示を通して, 郷土の歴史・文化に対する理解や親しみを深めてもらいながら, 地域文化の向上に寄与することを目的に開催した。

(1) 常設展の開催

吉舎町の豊かな歴史文化と伝統を背景とした貴重な遺物や資料等を通年展示した。

(2) 企画展の開催

	名 称	会 期	入館者数
1	県北の野鳥展	4月5日～6月28日(40日間)	116人
	【概要】 三次市在住の写真愛好家上木辰彦氏と菅昭和氏が撮影した県北の自然に生きる野鳥90種類の姿を生き生きと捉えた作品120点を展示し, 我々の暮らしを取り巻く豊かな自然を感じる展示とした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会期中の4月12日から5月19日までは臨時休館とした。		
2	懐かしき戦前の絵葉書展 －平和の願い－	7月5日～9月27日(75日間)	218人
	【概要】 三次市在住のフリーカメラマン田森孝仁氏所蔵の明治から昭和初期の写真絵葉書から当時の吉舎町の街並みや暮らしぶりを振り返る作品約60点を展示し, 平和で活気に満ちた時代の息遣いを感じられる展示とした。		
3	銀山街道を往く －大森から吉舎宿・尾道へ－	10月11日～12月20日(63日間)	302人
	【概要】 きさ・よいとこ発見隊が収集した資料や銀山街道にまつわる活動を紹介し, 銀山街道の継立地であった吉舎町の往時の繁栄ぶりや, 銀の輸送の様子を広く紹介し, 地域の誇りや郷土愛を涵養する展示とした。		
4	みよし文化祭入賞 児童生徒の俳句短歌作品展	令和3(2021)年1月10日 ～3月28日(68日間)	212人
	【概要】 三次市文化連盟が主催する「みよし文化祭」と連携し, 投稿された小中高校生の作品の中から入賞した88点を展示し, 子どもの頃から日々の暮らしの中で文芸に親しむ態度を涵養する一助とした。		
合計入館者数 246日間			848人

2 教育普及事業

(1) 地域連携事業

ア 鑑賞事業

児童生徒や地域の方々に、地域の歴史や昔の農家の日常生活（囲炉裏等）・民具・農具等に対する理解や親しみを深めてもらうことを目的に実施した。（美術館団体鑑賞との重複 3件）

【団体鑑賞受入実績】

	名 称	期 日	入館者数
1	美術作品鑑賞と地域の歴史学習 (吉舎中学校1年生)	6月17日	22人
2	美術作品鑑賞と地域の歴史学習 (酒河小学校3年生)	10月21日	35人
3	資料館見学—総合的な学習まとめ— (吉舎小学校6年生)	11月9日	20人
4	資料館見学—先進地視察研修— (世羅郷土民俗資料館)	11月19日	9人
5	資料館見学—くらしの移り変わり— (青河小学校3年生)	令和3(2021)年 1月26日	6人
6	美術作品鑑賞と資料館見学—昔の暮らし— (八幡小学校)	令和3(2021)年 1月26日	25人
合 計			117人

イ ワークショップ事業

	事 業 名	期日	講 師	参加者数
1	わら草履づくり体験	11月1日	山本一江, 佐々木 襄, 村上 貫, きさ・よいとこ 発見隊	7組(14人)

※美術館あーとあい・きさ入館者 3,103人 吉舎歴史民俗資料館入館者 848人
(開館日数 279日) 合計入館者数 3,951人